

多摩支部会報

平成30年さつき号

平成30年 5月12日

明治大学校友会
東京都多摩支部

支部長 西山 強

広報委 飯田光宏



第9回
ディスクゴルフ
大会

関連記事
2ページ参照



新年度を迎えて

多摩支部長 西山 強
(36年 工/国分寺)

快晴に恵まれた今年のGWでしたが、皆さまどのように楽しまれたでしょうか。

東京六大学野球も中盤に入りました。優勝旗を奪取し、美酒に酔いしれたいところです。

大学は少子化(=受験人口の激減)進行の中でその生き残りをかけて、昨年11月に策定した「学校法人明治大学中期計画」を4月からスタートさせました。

さて多摩支部の舵取り役を仰せつかってはや3年が過ぎようとしています。お陰様で当多摩支部は、各地域支部の役員や皆様のご協力、確実に一歩ずつ前に進めることが出来ました。本当に有難うございます。

今年度は、私に託された任期の最終年であり、改革課題進展に向けて皆様と共に踏ん張りたく思いますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

今、取り組んでいる課題を記し、認識の共

有をお願いしたいと思います。

①各地域支部の質の向上、②女子を含めて若者の数・質の向上、③情報の迅速化をはかる、の3課題であります。質の向上は各地域支部との協賛事業等で、お互いに学び高め合い、情報の迅速化もインターネット等を駆使し、会議等の資料や各地域支部間の情報交換の迅速化に図り、経費削減にも繋がっているおります。女子も含めた若者の数・質の向上は今一歩ですが、今年度の多摩支部総会から変わることを期待したい。

是非総会へ出席して確認して下さい。

最後のお願いとして15回目となる7月1日の「2018年度多摩支部定時総会」へのご出席であります。議事進行・アトラクション等々で女子の活躍が期待されます。是非、ご参加願うところであります。

また「第54回明治大学全国校友・石川大会」は金沢で9月30日行われ、全国から1,000名程度の校友が集まりますし、観光も用意されています。

多摩支部から多くの校友が参加されることを期待申し上げます。

第9回地域支部対抗ディスクゴルフ大会

企画事業委員会主催

地域支部対抗ディスクゴルフ大会 結果報告 平成30年3月24日（土） 於：立川昭和記念公園

（記：江面利和 昭47工 日野）

年度末最後の恒例行事となりました多摩支部地域支部対抗ディスクゴルフ大会。9回目の今年には昨年より多い16地域支部の皆さんにご参加いただきました。ありがとうございます。都内ではサクラも満開に近いようですが、立川はまだつぼみが多く1週間遅れでしょうか。お花見とは行きませんでした。春の陽光を浴びて、心地よい汗をかいたのではないのでしょうか。

さて、今年の団体優勝は村山地域支部です。日野地域支部の2連覇はなりません。回数を重ねただけあってみなさん昨年より上達したように思えます。

各地域支部におかれましては景品の提供大変ありがとうございました。お蔭様で17品の景品が揃い、賞品とすることができました。（今回競技に参加しませんでした福生地域支部からも景品を頂きました。）

※ 以下参加地域支部名（競技参加者数）

立川地域支部（5）、昭島地域支部（4）、府中地域支部（5）、小平地域支部（6）
町田地域支部（1）、小金井地域支部（1）、村山地域支部（5）、武蔵野地域支部（7）
国立地域支部（5）、青梅地域支部（2）、三鷹地域支部（2）、国分寺地域支部（5）
日野地域支部（4）、多摩市地域支部（5）、羽村地域支部（3）、稲城地域支部（4）
合計16地域支部 63名（表彰式参加は52名）

競技結果

個人 優勝 野口文雄（村山地域支部）	団体 優勝 村山地域支部
2位 広田 将（村山地域支部）	2位 府中地域支部
3位 尾形宏美（武蔵野地域支部）	3位 武蔵野地域支部

（※同スコアの場合は年齢の高い方が上位、また年齢申告のない方は下位としています。）



☛西山支部長始球式

↑表彰式

東京六大学野球春季リーグ明早戦応援観戦報告

2018年4月29日（日）

報告：企画事業委員会 江面利和 昭47工 日野



GW中、天候にも恵まれ、暑い日差しを浴びての応援でした。昨日は3-2で逆転負けしたので、今日は絶対に負けられない試合。本日の東京六大学野球春季リーグ戦対早稲田大学戦第2回戦は、4回を除いて毎回得点の15-3で明治大学が大勝しました。応援席も人数では早稲田よりもはるかに多く、最高潮の盛り上がりを見せました。明日も勝って勝ち点を取ってほしいところです。試合は、長短合わせて21安打を放ち、15点の大量得点で早大に圧倒、2番手ピッチャーのルーキー磯村選手（1年生＝中京大中京）が3イニングを1安打無失点の素晴らしいピッチングで初勝利を上げました。序盤3回はどちらも得点が入り、今日は打撃戦になるかと思いきや、4回以降は早稲田に得点を許さず、完勝でした。今日は得点が入る度、立って肩を組む回数が多く、少々疲れた試合でした。

明大	3	1	1	0	1	2	1	3	3	15	(投手)	伊勢、○磯村、竹田、高橋裕、長江
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計		
早大	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	(投手)	早川、徳山、今西、柴田、藤井寛

学生応援席参加人数 17名

町田地域支部 4名、国分寺地域支部 3名、村山地域支部 1名、小平地域支部 1名
日野地域支部 2名、多摩市地域支部 6名 (+バックネット1名)

以上

東京六大学野球で星野仙一氏追悼セレモニーを開催

2018年04月21日

明治大学 広報課



東京六大学野球春季リーグ戦で明治大学の今季初戦となった4月21日の東大戦では、試合前に体育会硬式野球部OBである星野仙一氏（1969年政治経済学部卒）の追悼セレモニーが開催されました。

両チームの関係者やスタンドの観客が見守る中、神宮球場のバックスクリーンには星野氏の現役時代から監督時代までの勇姿が映し出され、グラウンドでは両チームの選手が整列し、黙とうが捧げられました。

この試合では、明大ナインは左肩に喪章をつけてプレー。星野氏への思いを胸に攻守にわたって躍動し、9-2で勝利を収めました。（明治大学は第3戦を勝ち2勝1負で勝ち点を2としました。）

ラグビー部 絶対王者撃破 春初陣で帝京大に公式戦8年ぶり勝利 関東大学春季大会

◆ 4・28～6・17 第7回関東大学春季大会（八幡山グラウンド他）

▼ 4・30 グループA 対帝京大戦（札幌ドーム）

○明治17 {10-7、7-7} 14帝京大

新たな伝説が始まる。関東大学春季大会が開幕し、初戦の相手は昨年度1点差に泣いた王者・帝京大。2019年ラグビーW杯も開催される札幌ドームでの今試合は1万5000人もファンが集まった。試合は前半からFWがスクラムで先手に立ち主導権を掌握。後半に入ると一時リードを奪われるも最後は粘り強さを見せ逆転で悲願をつかみ取った



校友のボランティア活動紹介 その1

“歌の広場” ボランティア活動中



「花も嵐も踏み越えて…」大きなうたごえが聞こえます。

「桜で有名な根川緑道を越えて立川球場から大きな声援が聞こえてきます。丁度高校野球の予選で日本ハムに入団した早実清宮選手への声援です。」

我々は「いつだって青春、青春真っ只中、私たちのうたごえを野球場まで届くよう大きな声で歌いましょう」。演奏会のスタートです。私の家内のホーム入所支援から、快諾していただいた4人のメンバーで2016年6月にボランティア歌の広場としてスタート、隔月なのでこの2月で1年8か月、11回を数える。他に春と秋ミニ・コンサートを開催しています。スタートメンバーは川寄・高原・沼尻・藤川の4人でしたが、今や東工大OBを含め8人の大所帯です。

活動場所は到誠ホーム・アウリンコのデイホームで対象は約35～40名。

開催日の集合は午前10時30分、午後1時30分からの本番を前に伴奏者を中心に利用者目線を入念な打合せ・練習である。テンポ・スピード・キー・間奏の要否等々毎回2時間かけている。併設の食堂で麺類の昼食、たまにはファンの追っかけから団子、お稲荷さん等の差し入れもあります。

そして1時には演奏機器の搬入・歌詞カードの掲示・鳴り物楽器の点検を終え冒頭の「旅の夜風」となるのです。

前半8曲、後半8曲合計16曲、童謡・唱歌・流行歌・抒情歌・フォークみんなで選んだ選りすぐりの曲ばかり。“たき火”では手の運動…ゲー・チョキ・パー・ポンを採りいれたり、“いつでも夢を”では男女の歌い分けをしたり、“紅葉”では輪唱をするなど工夫もしています。

圧巻はハーフタイムです。歌唱担当のソロです。学生時代から混声四部OBのいわばプロ、多摩市、藤川さんの“あざみの歌”、元小平の男声合唱団団長、川寄さんは“街の灯り”、さすがに多摩支部のトップアーティスト、歌い終わっても拍手鳴りやまずの大盛況。カラオケ十八番の国立の川野辺さんはバタヤンこと田端義夫の“かえり船”、最前列の男性が2、3番を歌詞カードも見ないで一緒に歌い、終わると涙ぐんでいました。歌の力ってすごいですね。最後は高原さん演奏で“UHO”、するとスタッフ8人が歌と踊りに参加していただき、利用者もサプライズに拍手大喝采でした。

締めくくりは故郷「ではまたお元気で。」となるのですが、様々な声が聞こえてきます。「ブラボー」「新雪を歌ったら亡き主人を思いだして泣いちゃった」「今度菅原洋一を歌って」「ソロを増やして」「野ばらでもワグナーをね」とハイタッチなどもあり、みんなの素晴らしい笑顔、明るい声が会場いっぱい広がっています。“元気を”と訪問したにもかかわらず、毎回逆に全員が元気を目いっぱいもらって帰ってきます。

話しは変わりますが、老いてもボケない3つのことは、① 仕事を持っていること（ボランティアを含む）② 趣味を持っていること③ 家族以外の人と話ができること

これらを踏まえ、ホームの方々に喜んでもらえるならば“明治はひとつ”

メンバーの絶大な協力をいただきながら“継続は力なり”、男性中心の渋さと力強さをメインにボランティア活動を続けて行きたいと願っている次第です。

反省会は“国立名物うなちゃん”かな。

（記事：写真 沼尻 哲 昭46商 国立）

校友のボランティア活動紹介 その2

入所者に笑いを！学生に機会を！



町田駿台会 「社会貢献 出前寄席」

2017年12月、第7回町田駿台会「社会貢献出前寄席」を、町田市内にある特別養護老人ホーム「金井第二清風園」で開催しました。

地域社会への貢献の一助として、毎年、現役学生弁士を招聘し、「入所者に笑顔を学生に機会を！」をキャッチフレーズに実施しております。

当日は、明治大学落語研究会のメンバー、女性を含む5名が出演しました。落語と三味線の演技をご披露申し上げ、入所者及び職員、近隣の人等約60名のお客様に、丸2時間、休憩もなく熱心に聞いて楽しんで頂きました。

(もちろん入所者・職員の出入りはあります)

会場は笑いとお励ましの声で一体化し、大いに盛り上がり、皆様が楽しまれました。何よりも孫のような学生の演技に、一味違う喜びを持たれたようです。

また、学生は多いに励ましを受けました。

来年も頼むよ！期待しているからね！とのお言葉に、心満たされました。

「平成落語ブーム」と言われている昨今、若き後輩たちのますますの活躍を期待し、1年後の再会を皆さまと交わしてお開きとなりました。



(記事：影山 写真：橋本)

校友のボランティア活動紹介 その3

多摩支部の皆さん

どなたでもご入場いただけます！

明治大学校友会小平地域支部主催 第1回公開講演会

“ふれあいで心をつなぐ”

～仲間づくりを通して生きる意欲を育む～

もろとみよしひこ

講師：諸富祥彦氏（明治大学文学部教授）

プロフィール：

1963年福岡県生まれ 筑波大学卒、同大学院博士課程修了、英国イーストアングリア大学、米国トランスパーソナル心理学研究所客員研究員など経て、現在明治大学文学部教授、教育学博士

・日本トランスパーソナル学会会長、日本カウンセリング学会理事、日本産業カウンセリング学会理事、日本生徒指導学会理事、教師を支える会代表、現場教師の作戦参謀、臨床心理士、上級教育カウンセラー、学会認定カウンセラーなどの資格を持つ

＊授業に「婚育」を取り入れるなど話題の教授

＊マスコミ多数出演

＊格闘技趣味でA猪木と対戦経験あり

＊講演：教員・保育士などの研修会、学校・幼稚園の保護者向け講演会、中高生徒対象の人生を考える講演会、企業の人間関係研修、一般向けにふれあいが生きる意欲を育てる講演会など



◇日時：2018年8月19日（日）

開場14：00 開演14：30～16：00

◇場所：ルネこだいら レセプションホール（小平駅南口徒歩3分）

◇先着150名、**入場無料（事前申込不要）**

主催：明治大学校友会小平地域支部
後援：小平市・小平市教育委員会

＊お問合せ先：明治大学校友会小平地域支部事務局：042-344-9067

＊会場には駐車場がありません、公共の交通機関をご利用ください

2018年度入学式が盛大に挙行されました



wikipedia より転用

明治大学の2018年度入学式が4月7日、日本武道館（千代田区）で挙行され、夢や希望を胸に抱いた新入生8250人（学部生7281人、大学院生969人）が、新たなスタートを切りました。式典は学部・大学院別に午前と午後の2部制で行われ、いずれも土屋恵一郎学長の告辞、柳谷孝理事長の祝辞、新入生代表による宣誓と続きました。

土屋学長は告辞の中で、無限に広がる学びの多様さを説きながら、詩人・W. H. オーデン氏の『見る前に飛べ』の詩を紹介。「大学は未体験の新しいことばかり。そうであるからこそ、さらに新しいことを求め、異なる言語、異なる文化へと飛び込んでいけばいい。見る前に飛べ」と激励しました。

祝辞に立った柳谷理事長は、未来の担い手である新入生に向け、新たな世界への挑戦や全力で挑み続ける「行動力」の重要性を訴えた上で、「新たに出会う仲間と切磋琢磨し、それぞれにふさわしい『個』の確立を目指してほしい」と期待を込めました。

続く宣誓では、午前の部は農学部の岡田力樹さん、午後の部では文学部の伊藤彩恵花さんがそれぞれ新入生を代表して登壇。「日本と

いう狭い鳥籠に留まる鳥ではなく、世界に羽ばたいて行ける鳥になれるよう、一日一日を大切にし、精進していく」（岡田さん）、「座学だけではなく、ゼミナール活動やサークル、部活動などさまざまな場面で挑戦し続け、理想へと邁進していく」（伊藤さん）と、力強く抱負を語り、最後は全員で校歌を斉唱しました。

式典後は、前方スクリーンに大学生活の紹介映像が流れる中、明治大学交響楽団、グリーンクラブ、混声合唱団が演奏・合唱を披露するなど、新入生歓迎セレモニーとして入学記念演奏を実施。さらに、明大を卒業し各界で活躍する先輩を代表して、サッカー日本代表の長友佑都さん、TBSアナウンサーの熊崎風斗さん・山本恵里伽さんからそれぞれお祝いビデオメッセージが上映されました。

祝福を受けた新入生たちは思いを新たに、明大生としての一步を踏み出しました。

（明治大学HP転載）

第2期 中期計画を策定

学校法人明治大学では、このたび「第2期中期計画」を取りまとめました。大学を取り巻く環境は、18歳人口の減少、東京23区の大学定員抑制等により一層厳しさを増しており、またグローバル化や情報化の進展も相まって、国内外を問わず大学間競争が激しくなっております。

こうした中、本学では、2011年に「学校法人明治大学長期ビジョン」を定め、本学が将来にわたり「新しい知の創造」及び「時代の要請に応える人材の育成」の拠点であり続けるため、「世界へー国際人の育成と交流のための拠点世界で活躍する強く輝く『個』を育てる教育研究の実現」という理念を掲げました。

あわせて、それを着実に実現するため「第1期中期計画」（2014年度～2017年度）を策定し、これに基づき様々な改革に取り組んでまいりました。そして、第1期で達成した成果を踏まえつつ、その中で明らかになった課題や外部環境の変化等を勘案して、2018年度から2021年度までの行動計画である「第2期中期計画」を策定し、公表に至りました。

第2期では、数値目標や評価指標をより具体的に示しており、これらを各年度の事業計画や予算編成に連動させることで、本学の発展に一層効果的に作用させることができます。

この中期計画は、本学の今後の成長戦略を描き、さらに進化するためのツールであり、役員から教職員に至るまで一貫して共有されるマイルストーンでもあります。中期計画の着実な履行を通して、世界大学ランキング-アジアトップ100へのランクアップをはじめ、教育研究のグローバル化と高度化を一層加速させてまいります。

これまで培ってきた歴史と伝統を受け継ぎ、創立140周年、そして150周年も見据えて、本学が教育研究成果を世界に向けて発信し、国際的な水準で評価される大学として発展を続けていくために、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人 明治大学
理事長 柳谷 孝



(大学HP転載)

人気の私大は？「実志願者数」1位は明治、2位はわずかの差で...〈週刊朝日〉 | A

AERA dot.

見にくくて
申し訳ありません

出版

は？「実志願者数」1位は明治、2位はわずかの差で...

大学入試 教育

2018年度の主な私大ののべ志願者数と実志願者数

順位	大学名	募集人員	延志願者	前年比	実志願者	前年比	併願率	実志願倍率
1	近畿大	4,961	156,225	100%	31,242	104%	500%	6.3
2	法政大	4,276	122,499	103%	61,210	101%	200%	14.3
3	明治大	5,413	120,279	106%	61,287	102%	196%	11.3
4	早稲田大	5,555	117,209	102%	54,056	99%	217%	9.7
5	東洋大	5,664	115,441	114%	44,538	110%	258%	7.9
6	日本大	7,804	115,180	102%	57,596	99%	200%	7.4
7	立命館大	4,804	98,262	102%	39,358	100%	250%	8.2
8	関西大	3,752	92,216	109%	33,233	108%	277%	8.9
9	中央大	4,255	88,182	119%	38,486	109%	229%	9.0
10	千葉工業大	1,379	78,905	106%	14,733	101%	536%	10.7
11	立教大	3,107	71,793	115%	35,127	108%	204%	11.3
12	青山学院大	2,919	62,905	103%	31,341	101%	183%	11.8
13	同志社大	3,790	58,596	104%	非公表	-	-	-
14	東京理科大	2,723	56,566	106%	29,169	104%	194%	10.7
15	東海大	3,959	52,022	106%	30,379	104%	171%	7.7
16	法谷大	2,533	51,802	106%	24,312	104%	213%	9.6
17	京都産業大	1,847	50,562	117%	10,429	109%	485%	5.6
18	福岡大	3,077	48,979	100%	非公表	-	-	-
19	専修大	2,602	45,761	103%	19,415	102%	236%	7.5
20	駒澤大	2,489	44,815	108%	非公表	-	-	-

募集人員・のべ志願者数は大学通信調べ。主要な私立大学約100校を調査し、センター利用入試を含む一般入試のみのデータ（2部・夜間主コース等を含む）。数字は3月31日時点。実志願者数は主要な私立大に編集部が問い合わせた。センター利用入試を含む一般入試（2部・夜間主コース等を含む）について、同じ志願者は複数併願しても1人として集計した。併願率はのべ志願者数を実志願者数で割った。実志願倍率は実志願者数を募集人員で割った。※同志社大はセンター利用入試を含まない一般入試の実志願者数（25,800人、前年比102%）を公開した。

願者数と実志願者数【1/2（1位～20位）】（週刊朝日 2018年5月4日～11日号より）>>

来まっし 見まっし 寄るまっし

第54回  明治大学全国校友
石川大会

(平成30年) **2018年9月30日(日)**

大会会場・講演会 **石川県立音楽堂**

懇親会 **ホテル日航金沢**

明治大学校友会石川県支部事務局



お申込み窓口 **JTB 中部 金沢支店** TEL:075-254-2272 FAX:075-262-6166



多摩支部のみなさん！金沢へは上野から新幹線で3時間あまりです。
北陸の美味しい肴とお酒を頂き、全国の校友との交流を深め「明治はひとつ」を実感しましょ。案内状は多摩支部総会場に用意します。



編集後書 多摩支部会報さつき号を紙面発行いたしました。正副支部長会議で、予算措置がとれるのならインターネット環境にない校友も多くいるので、「時には紙面発行もとの声」があり、試行として、年度内の数回を紙面発行を併せて行うことにしました。紙面発行はタイムラグが大きく出ることをご了承願います。 . . . 広報委員会